

風"s・風のたよりオンライン版

2011/10/15 No.171

風のたより171号

虫の音が、雑音に聞こえる欧米の人と、なにか語りかけるような言葉として聞こえる日本人との違い、言語を司る右脳で聞く日本とそうでない欧米の人との話は興味深いですね。10月はアルパカの暖かさと軽さに出会う嬉しい月です。

■ 10月18日～23日まで 2011年 アルパカ製品おひろめ会

PUENTプエンテは、一人の女性がボリビアと出会いそしてはじめたお店です。2年くらい前に、自宅を訪ねた時の落合さんです。一緒に食事をした時のこと、氷の入った水をもってきたお店の人に、氷の無いお水を希望した彼女、しっかり意志表示をする人だな～と感心した覚えがあります。

以下プエンテホームページより

ボリビアとの出会いは2002年10月。

日本のNGOの現地調整員として、ボリビアのアンデス高地の農村で識字教育などに使える村の集会所のようなものを住民と作るプロジェクトに関わる機会をもらいました。

10ヶ月のプロジェクトが終わるころには、自分たちの食べるものを作り出し、自然環境と調和して堅実に暮らす村の人々の生活文化と、伝統文化を引き継いでいる女性たちの織物の技術、男性たちの刺繍の技術にほれ込んでいました。

もっとボリビアの人々と関わっていきたい。

そう思ったときに、「では、この人々どうお付き合いしていくのか。」

と自分に問いました。「援助活動」は自分にはどうもじっくりこない。

彼女ら彼らの手仕事を日本に紹介する「一商売人」としてお付き合いするのが自然な形のように思えました。

何の経験もないところからのスタートで全てが手探りでした。

最初の3年は年の半分以上をボリビアに滞在し、つくり手との関係の土台を作ることから始めました。イベントに出店させてもらったり、お店に置いていただいて、少しずつ作ってきたものを日本で販売。

今まで多くの人の助けがあって現在に至っています。

2006年からはペルーのつくり手とも付き合い始め、現在ボリビアとペルーとつながりがあります。

■ アルパカ カーディガン 見てください。手を通してみてください。

カーディガンも、ベストも軽くてやさしいぬくもりで素敵です。スカートにもなるポンチョもあり。肩を腰を、おしゃれに暖かく包みます。リスクウォーマーなどの小物も魅力的。

他にも、かわいいアルパカ動物の小物や、ポシェットなどもあり、これらを見ると、あ〜冬がくるんだな〜とこころも準備を始めると思います。

作り手にとっても、着る人にとっても、大切な一枚になります。プエンテの落合さんの企画からすべてこなした努力のもと届けられます。ご期待くださいね。

■ アルパカの話

アルパカは南米アンデス山脈一帯に棲むラクダ科の動物です。海拔4000m〜5000mの高原に放牧され、温度差の激しい地で身を守るために非常に細い繊維を持っています。

アルパカの毛糸の軽さ、とろんとした手触りのなめらかさ、そしてあたたかさにおいて最高級といわれています。

そのなかでも首もとのとくにやわらかい毛をベビーアルパカといいます。思わず頬ずりしたくなるような、やわらかい肌ざわりです。

■ ベビーアルパカのネックウォーマー、ことしも新商品で登場！

もう何年前になるでしょう。初めて手にしたときのまさに「とろんとした手触りのなめらかさ」に驚きました。このベビーアルパカ製品を手にとった人は魅了されてしまいます。

そして、ネックウォーマーとして首を温め、手書きのインカビーズがついている紐を引くと帽子にもなり、それらがリバーシブルで変化するという、4変化、いやいや、色違いのラインを真ん中にすれば6変化もするネックウォーマーは、定番人気！コンパクトサイズなので鞆にすっぽり。

夜、雪が降って来たら……鞆から取り出し帽子に！ そんな季節もすぐそこです。

贈り物の季節にも、老若男女、喜ばれる不思議なネックウォーマーです。

■ 東日本と世界と私をつなぐ、名古屋の街チョコ「も～やいこ」チョコ登場します！

11月に販売予定。次回の「風のたより」にて案内します。

バザーの景品や、参加賞、ビンゴゲームの賞品にフェアトレード産品を選んでみてください。他にはない珍しさや、そこにある物語、手作りの良さ、何かが伝わるフェアトレードの産品は、こころの仕事を届けています。

電子メール：huzu@huzu.jp

ウェブページ：<http://www.huzu.jp/>

風の交差点 風"s